

常任委員会

◆総務委員会

◇企業版ふるさと納税が可能に！

越川 慶一 委員長

「再審法制の改正を求める要望意見書提出に関する陳情」については、審査の結果、願意に沿いがたく不採択となりました。

また、所管事項の「苫小牧市地域再生計画の認定及び企業版ふるさと納税」については、苫小牧市が策定した地域再生計画が、令和2年7月3日付けで内閣府の認定を受けたことから、苫小牧市においても企業版ふるさと納税の受け入れが可能となります。

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生事業に対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みで、苫小牧市は総合戦略に掲げた4つの基本目標を実現する事業に対して、企業版ふるさと納税の仕組みの活用を可能とするものです。



委員会風景

◆厚生委員会

◇子どもを虐待から守る条例の制定を！

宇多 春美 委員長

小規模保育事業所の開設については「ひだまりのもり保育園」「学校法人絆学園」が令和3年4月1日から事業を開始するとの説明がありました。

児童虐待防止対策として、令和3年1月の児童相談複合施設の開設に合わせ「子どもを虐待から守る条例」を制定する報告がありました。条例制定の進め方としては、苫小牧市子ども・子育て審議会に部会を設置し、子どもの権利利益の擁護、心身の健やかな成長が守られる社会の実現を目的に、市・保護者・市民・関係機関など、それぞれの責務、予防・早期発見、保護者への指導・支援など素案を示し、パブリックコメント終了後、令和2年12月に市議会へ提案・審議し、令和3年1月1日の条例制定を目指します。



委員会風景

◆文教経済委員会

◇観光振興ビジョン推進事業の進捗状況などを質疑！

大西 厚子 委員長

苫小牧市観光振興ビジョン推進事業の進捗状況について、評価指標である観光入込客数、観光案内所利用状況、各種イベント観光客動員数の令和元年度の実績と事業結果の報告がありました。委員からは、評価指標の目標設定の在り方、通型観光からの脱却、僕だけがいない街プロジェクト支援などの質疑が交わされました。



COCOTOMA 内観光案内所

令和元年度対象教育委員会点検・評価報告書について、評価基準の在り方、赤ちゃん絵本のとびら事業、通級による指導の充実についてなどが議論されました。その他では教育現場におけるコロナ対策臨時交付金の執行状況についてなどの質疑がありました。

◆建設委員会

◇日新地区の熱供給事業を議論！

谷川 芳一 委員長

昭和47年から供給を開始している日新地区の熱供給事業は、燃料費の高騰や糸井清掃センター廃炉、市営住宅除却などにより、経営状況は今後悪化することが想定され総合的に勘案した結果、令和5年度をもって事業を終了する予定との報告があり、事業者や市が抱える課題も山積しており、全委員より事業終了に伴うさまざまな影響や、事業者に対して市が補償する補償金額などについて活発な議論が交わされました。



委員会風景

また、水道・下水道広報事業についてでは、公共サービス民間提案制度などを活用した取り組みとして無料給水スポット（表町）やポケモンマンホール蓋の設置などについて報告がありました。